

[043]言語文化論究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2534365>

出版情報：言語文化論究. 43, 2019-09-30. 九州大学大学院言語文化研究院
バージョン：
権利関係：

退職教授研究業績表

阿尾安泰教授

I. 著書

1. 『ルソーを学ぶ人のために』桑瀬章二郎（編），世界思想社，平成22年3月（「演劇をめぐる」75-93頁）。

II. 学術論文（全て単著）

1. 「ジャン＝ジャック・ルソー論『演劇に関するダランベール氏への手紙』をめぐる」『独仏文学研究』（九州大学独仏文学研究会）39号，1-51頁，平成元年8月。
2. 「ミシェル・フーコーの涙」『独仏文学研究』（九州大学独仏文学研究会）40号，1-23頁，平成2年8月。
3. 「言語・システム・言語」『STELLA』（九州大学フランス語フランス文学研究会）12号，47-66頁，平成5年3月。
4. 「言語文化空間論のためのラフスケッチ」『言語文化論究』（九州大学大学院言語文化研究院）6号，119-127頁，平成7年3月。
5. “Langages / Systèmes / Histoires – Introduction à l’analyse topologique de l’espace culturel du XVIIIe siècle (1)”『比較社会文化』（九州大学大学院比較社会文化研究院）5巻，69-73頁，平成9年3月。
6. 「18世紀の権力空間論——『演劇に関するダランベール氏への手紙』をめぐる」『STELLA』（九州大学フランス語フランス文学研究会）17号，65-88頁，平成10年6月。
7. 「イメージ表象分析の試み——ドンキホーテ，ルソー，ダミヤン——」『STELLA』（九州大学フランス語フランス文学研究会）18号，61-82頁，平成11年6月。
8. “Rousseau, penseur, “diaspora” (1)”，『比較社会文化』（九州大学大学院比較社会文化研究院）6巻，79-85頁，平成12年1月。
9. 「言語文化空間論のためのラフスケッチ（2）」『言語文化論究』（九州大学大学院言語文化研究院）11号，63-75頁，平成12年3月。
10. 「ジャン＝ジャック・ルソー像の揺らぎを求めて」『STELLA』（九州大学フランス語フランス文学研究会）20号，91-104頁，平成13年9月。
11. 「アルマン少年の出来事——ダミヤン事件の示す18世紀における王と人民の関係」『言語文化論究』（九州大学大学院言語文化研究院）15号，61-68頁，平成14年1月。
12. 「ピグマリオンからフランケンシュタインへ」『比較社会文化』（九州大学大学院比較社会文化研究院）第8巻，155-163頁，平成14年3月。

13. 「ルソーというトポロジー」『フランス文学論集』（九州フランス文学会）37号，1-12頁，平成14年11月。
14. 「ルソーをめぐる読解のトポロジー（1）」『STELLA』（九州大学フランス語フランス文学研究会）21号，87-97頁，平成14年12月。
15. 「ルソーとロマン主義なるもの」『言語文化論究』（九州大学大学院言語文化研究院）18号，1-12頁，平成15年6月。
16. 「言語文化空間における「連続」と「無限」」『言語文化論究』（九州大学大学院言語文化研究院）21号，21-30頁，平成18年3月。
17. 「『八十日間世界一周』をめぐる——「空間」・「時間」・「資本」」『比較社会文化』（九州大学大学院比較社会文化研究院）12巻，79-88頁，平成18年3月。
18. 「第12回国際18世紀学会について」『STELLA』（九州大学フランス語フランス文学研究会）26号，91-102頁，平成19年12月。
19. 「18世紀のオナニスム——ティソを中心として」『言語文化論究』（九州大学大学院言語文化研究院）25号，53-63頁，平成22年12月。
20. 「18世紀における演劇性の問題」『言語文化論究』（九州大学大学院言語文化研究院）25号，53-63頁，平成24年2月。
21. “Les analyses de l’Onanisme de Samuel-Auguste Tissot”，『比較社会文化』（九州大学大学院比較社会文化研究院）25巻，53-63頁，平成24年6月。
22. 「18世紀、語られるもの、語られないもの」『比較社会文化』（九州大学大学院比較社会文化研究院）19巻，1-9頁，平成25年6月。
23. 「恐怖という効果——可視性から考える18世紀の知の枠組み」『言語文化論究』（九州大学大学院言語文化研究院）35号，1-13頁，平成27年11月。
24. 「18世紀の風を求めて——言語文化空間論構築の試み」『言語文化論究』（九州大学大学院言語文化研究院）37号，63-78頁，平成28年10月。
25. 「ジャン＝ジャック・ルソーと国王暗殺未遂ダミヤン事件（1）」『言語文化論究』（九州大学大学院言語文化研究院）40号，15-25頁，平成30年2月。
26. 「ジャン＝ジャック・ルソーと国王暗殺未遂ダミヤン事件（2）」『言語文化論究』（九州大学大学院言語文化研究院）41号，33-43頁，平成30年10月。
27. 「ミシェル・フーコーと18世紀」『言語文化論究』（九州大学大学院言語文化研究院）42号，1-15頁，平成31年3月。

Ⅲ. 研究調査・報告

1. 「フランス啓蒙思想における「法」の諸問題」（平成18～19年度科学研究費基盤研究（C），研究成果報告書，課題番号，18520157），92頁，平成20年5月。
2. 「18世紀フランスにおける演劇モデルによる知の構築」（平成23～25年度科学研究費基盤研究（C），研究成果報告書，課題番号，23520389），vii+70頁，平成26年3月。
3. 「18世紀後半フランスの言語文化空間における読解性の構築」（平成26～28年度科学研究費基盤研究（C），研究成果報告書，課題番号，26370359），iv+87頁，平成29年3月。

〈口頭発表〉(すべて単独発表)

1. 「ルソーというトポロジー」第49回九州フランス文学会, 平成14年11月.
2. “L’analyse de la Lettre à Monsieur d’Alembert sur les spectacles”, 第11回国際18世紀学会 (アメリカ, UCLA), 平成15年7月.
3. “L’analyse de la loi chez Rousseau”, 第12回国際18世紀学会 (フランス, モンペリエ大学), 平成19年7月.
4. “Les analyses de l’Onanisme de Samuel-Auguste Tissot”, 第13回国際18世紀学会 (オーストリア, グラーツ), 平成23年7月.
5. “Recherches épistémologiques et théâtralité”, 第14回国際18世紀学会 (オランダ, ロッテルダム), 平成27年7月.

IV. 招待講演

1. 「ルソーから見た『フランケンシュタイン』」, 日本シェリー学会第25回大会 (東京大学), 平成28年12月.
2. 「ジャン=ジャック・ルソーの恐れたもの — 18世紀言語文化空間分析の試み — 」, 18世紀フランス研究会公開講演会 (慶應義塾大学), 平成31年3月.

V. その他

1. ルイ・アルチュセール著, 『愛と文体』藤原書店, 平成16年6月. (飯田伸二氏らとの共訳)
2. ティソ他著, 『性・抑圧された領域』国書刊行会, 平成23年6月. (阿部律子氏らとの共訳)

VI. 科学研究費補助金

1. 「フランス啓蒙思想における「法」の諸問題」平成18～19年度科学研究費基盤研究 (C), 研究分担者.
2. 「18世紀フランスにおける演劇モデルによる知の構築」平成23～25年度科学研究費基盤研究 (C), 研究代表者.
3. 「18世紀後半フランスの言語文化空間における読解性の構築」平成26～28年度科学研究費基盤研究 (C), 研究代表者.
4. 「18世紀の言語表象システムと新たな視覚性の到来」平成30～32年度科学研究費基盤研究 (C), 研究代表者.